

環境と健康 ―最近の話題から―

我々を取り巻く環境中には様々な化学的・物理的要因が存在し、健康に影響を及ぼしています。戦後の高度経済成長期には、工場が排出するばい煙や汚水などによる地域の環境汚染が進み、公害による健康障害が問題となりました。近年は、一般・産業廃棄物、自動車による大気汚染、生活排水による水質汚濁、エネルギー消費増大による地球温暖化などのように我々の日常生活や通常の産業活動が原因となる自然・生活環境問題が起きています。また、金属、ダイオキシン類、揮発性有機化合物、浮遊粒子状物質や電磁波などの微量でも長期に曝露される環境要因の健康影響も懸念されています。今回の公開医学講座では、現在、社会問題となっているアスベストの他、身近に存在する環境要因による健康影響の現状についてご紹介します。

衛生学公衆衛生学（一）
教授 松岡雅人

日 時： 平成18年5月20日（土）13:00—17:00
会 場： 東京女子医科大学 弥生記念講堂
対 象： 一般医家、コメディカル、医学生、看護学生
参加費： 無料

プログラム

13:00—13:05 挨拶 学長 高倉 公朋

13:05—14:45 第1部 アスベスト曝露の健康影響

1. アスベスト問題の現状 産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学 教授 高橋 謙
2. アスベスト関連疾患 東京女子医科大学内科学（第一）（呼吸器内科） 講師 近藤光子
3. アスベストの毒性と曝露防止対策 東京女子医科大学衛生学公衆衛生学（一） 教授 松岡雅人

—休憩—

15:00—17:00 第2部 自然・生活環境と健康影響

4. 大気汚染と呼吸器障害 東京女子医科大学内科学（第一）（呼吸器内科） 講師 亀山伸吉
5. ヒ素汚染地域における健康障害 筑波大学大学院人間総合科学研究科医学系専攻 教授 熊谷嘉人
6. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）問題の現状 自治医科大学地域医療学センター環境医学部門 教授 香山不二雄
7. 携帯電話と健康 東京女子医科大学衛生学公衆衛生学（二） 教授 山口直人
8. 地球環境問題と健康支援 東京女子医科大学地域看護学 教授 柳 修平